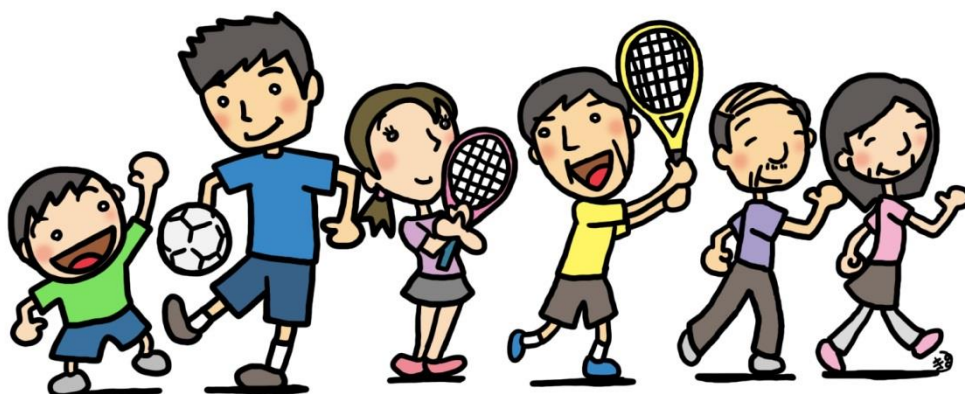


平塚市スポーツ推進計画

〔中間見直し版〕

～スポーツを楽しみ、健康で長寿のまち ひらつか～



平塚市教育委員会

第1章 計画の概要

計画策定の背景と中間年の見直し

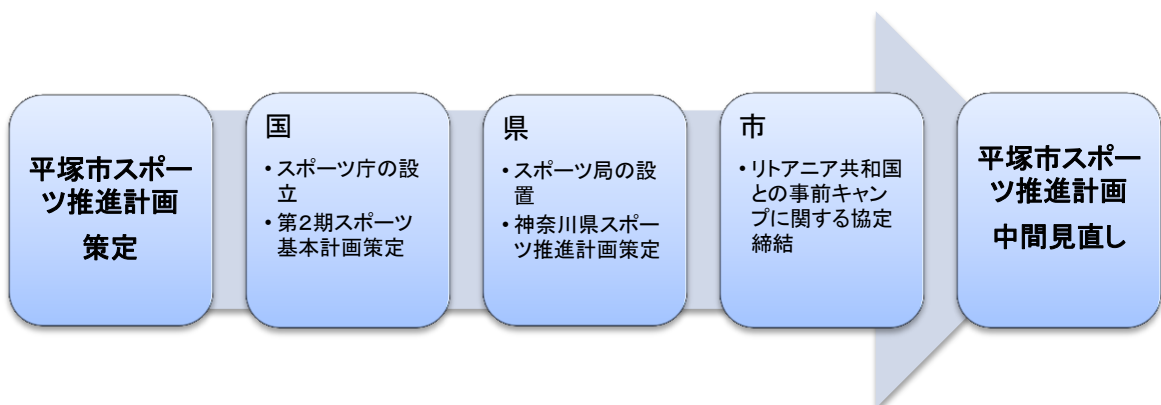
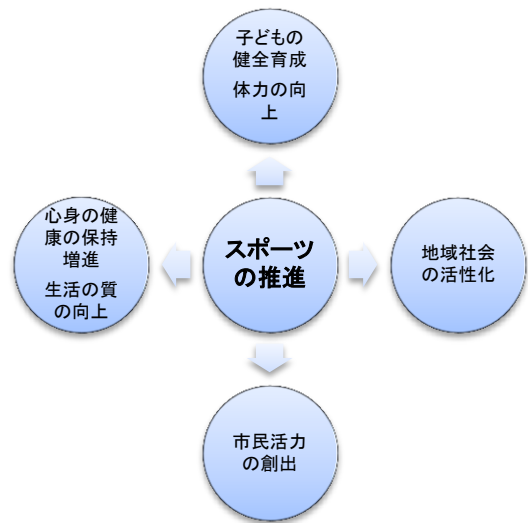
本市が取り組むスポーツ施策を示す「平塚市スポーツ推進計画」を平成26年2月に策定いたしました。本計画は、計画の進捗状況や国等の動きを踏まえた社会情勢の変化によっては、中間年で見直しを実施するものとしています。本計画の目標である「スポーツを楽しみ、健康で長寿のまち ひらつか」を実現するため、平成30年に改めて市民のスポーツの現状を把握するためのアンケートを実施し、また、本計画を推進していくための施策の見直しを行いました。

国では平成23年にスポーツ基本法が制定され、平成24年にはスポーツ基本法に基づき、スポーツに関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るために、スポーツ基本計画が策定されました。平成27年にはスポーツ庁が設立され、スポーツ行政を総括的に推進することとしています。そして、平成29年には第2期スポーツ基本計画が策定されました。

神奈川県では、平成16年に神奈川県スポーツ振興指針「アクティブかながわ・スポーツビジョン」を策定、平成23年にはスポーツを通じて、健康で明るく豊かな生活を営んでいただくことを目指し改定しました。また、平成28年にはスポーツ関連施策を集約して、スポーツ行政をより効果的・一体的に推進するために新たにスポーツ局を設置しました。そして、平成29年には「神奈川県スポーツ推進条例」に基づき、県民をはじめ、市町村やスポーツ関係団体などと連携・協働し、スポーツを推進するよう、県が総合的かつ計画的に取り組む施策を示した「神奈川県スポーツ推進計画」を策定しました。

本市では、平成28年にリトアニア共和国オリンピック委員会と、平成30年に同国パラリンピック委員会と事前キャンプに関する協定を締結しました。また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、国が推進するホストタウン事業¹に伴い、同国の「ホストタウン」としての登録を受けており、様々な交流が実施されます。本市を取り巻く、スポーツ環境や社会環境も、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催決定後から変化しています。こうした社会情勢の変化に対応するため、国等の動向も踏まえ、「平塚市スポーツ推進計画」の施策の中間年による見直しを実施いたしました。

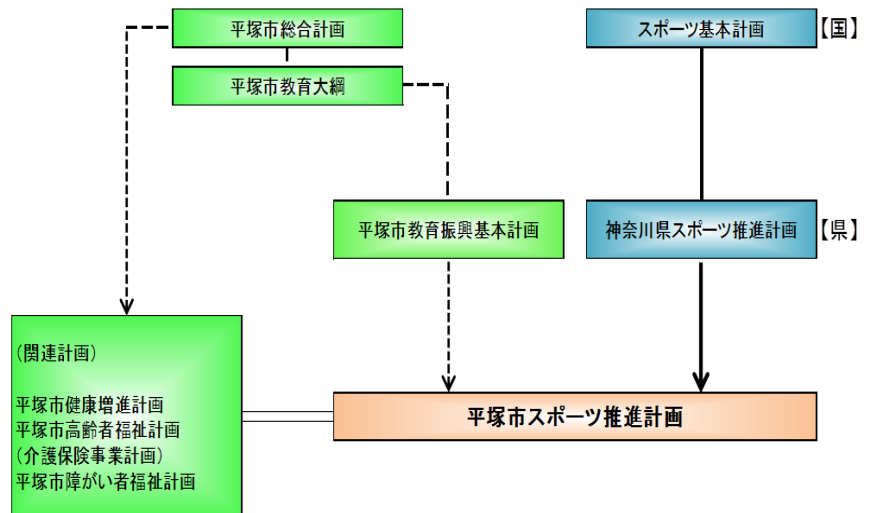
スポーツを「する」「みる」「ささえる」といった多様な形で市民がスポーツに携わることで、本市のスポーツ参画人口を拡大し、「平塚市スポーツ推進計画」の目標である「スポーツを楽しみ、健康で長寿のまち ひらつか」を目指し、スポーツを通じた活力ある社会づくりを実現します。



¹ 2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、参加国等との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方公共団体を「ホストタウン」として登録する事業。

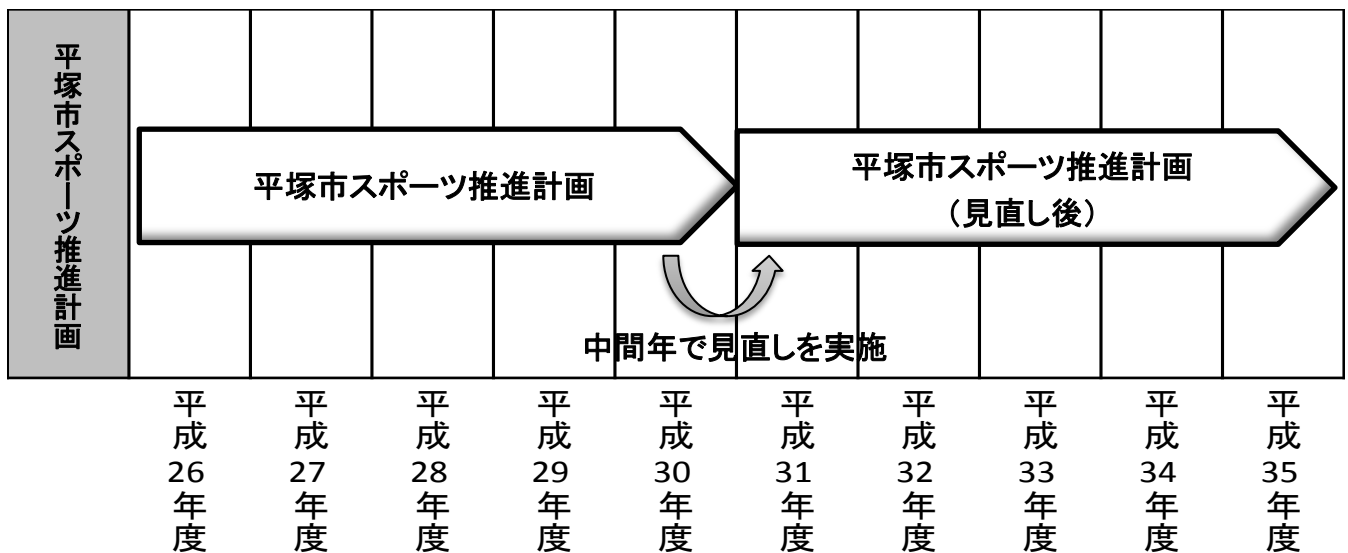
計画の位置づけ

本計画は、「スポーツ基本計画」を参酌しながら、本市が取り組むスポーツ施策を示すものです。さらに、「平塚市総合計画²」及び「平塚市教育大綱³」「平塚市教育振興基本計画⁴」を補完し、「平塚市健康増進計画⁵」、「平塚市高齢者福祉計画（介護保険事業計画）⁶」、「平塚市障がい者福祉計画⁷」との整合性も図ります。



計画の期間

本計画の期間は、平成26年度から平成35年度までの10年間とし、中間年には計画の進捗状況を踏まえ、見直しを行います。また、本計画の進捗状況や社会情勢などの変化によっては、必要に応じて見直しを行います。



² 本市の行政運営を総合的、計画的に進めるための基本となる指針を示した本市の最上位計画のこと。

³ 地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定めたもの。

⁴ 市民の学びをいかにした生涯学習社会の実現を基本理念とした市の教育全体を包括する計画のこと。

⁵ 生活習慣病予防に重点を置き、介護を必要とせず、健康で自立した生活を送ることができる期間の延伸や、生活の質の向上の実現を目指す計画のこと。

⁶ 長寿社会を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまちを目指す計画のこと。

⁷ 障がいのある人もない人もともにいきいきと生活するまちを目指す計画のこと。

第2章 現状と課題

本市を取り巻く環境

1 少子高齢化の進行

人口の推移	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)
平成20年	13.5%	66.9%	19.6%
平成25年	12.9%	64.1%	23.0%
平成30年	12.0%	60.7%	27.3%

2 生活習慣病⁸患者の割合⁹が48.7%(平成28年6月診療分)

3 要介護(要支援)認定者は10,932人(平成29年9月)

本市を取り巻くスポーツ環境

本市には次のスポーツ関係団体や大学、プロスポーツチームがあり、それぞれスポーツ活動を推進しています。

平塚市体育協会

市民及び各団体の体育の普及・発展に寄与することを目的に、昭和25年(1950年)に発足。27団体が加盟。

平塚市体育振興連絡協議会

地区体育振興に関わる連絡調整並びに研修活動を図り、もって地区体育の普及・発展を図ることを目的に昭和37年(1962年)に発足。市内24地区に体育振興会が設けられている。

平塚市スポーツ推進委員協議会

スポーツ基本法に基づき教育委員会より委嘱される非常勤公務員で、教育委員会推薦と小学校区を単位とした全28地区から推薦を受けた委員によって構成される。

平塚市スポーツクラブ連合

スポーツクラブの育成及び相互の連絡調整、情報交換を通して生涯スポーツの一層の普及・振興を目的に、昭和62年(1987年)に発足。4種目が加盟。

平塚レクリエーション連盟

市内のレクリエーション団体相互の連絡を図るとともに、健康で明るい郷土の建設と豊かな市民生活の向上に寄与することを目的に、昭和51年(1976年)に発足。4団体が加盟。

東海大学

本市に、理工系から情報系、社会・人文科学、そしてスポーツまで、文理融合型総合大学ならではの多様な11学部、大学院が併設された湘南キャンパスを置く。

神奈川大学

横浜、湘南ひらつかにキャンパスをもち、7学部20学科2プログラム及び大学院9研究科を有する総合大学。

湘南ベルマーレ

日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)に加盟するクラブの1つ。本市を含む9市11町をホームタウンとしている。

横浜 DeNA ベイスターズ

日本プロ野球球団の1つ。平塚球場で2軍年間約20試合を行う。

横浜ビー・コルセアーズ

日本プロバスケットボールBリーグに所属するチームの1つ。平塚総合体育館で年間約5試合を行う。

⁸ 食生活や喫煙、飲酒、運動不足など生活習慣との関係が大きい病気のこと、癌、脳卒中、糖尿病などが含まれる。

⁹ 国民健康保険に加入している市民で病院を受診した人(40歳以上75歳未満)に占める生活習慣病患者の割合(平成28年6月診療分のデータより)

本市のスポーツの現状と課題

「する」スポーツ

現状 ①成人の週1回以上のスポーツ実施率 55.4%(平成 30 年度調査)(全国値 51.5%(平成 29 年度調査))

②本市のスポーツ振興に期待することの1位が「年齢層にあったスポーツの普及活動」

③神奈川県の子どもの体力・運動能力は全国平均値と比べて低い

④60 歳代、70 歳代の週1回のスポーツ実施率が他の世代と比べて高い

⑤本市の障がい者のスポーツ大会等の普及啓発事業への参加率は低い

課題 ①市民それぞれの興味・関心に応じて積極的にスポーツに取り組む機会の充実

②子どもがスポーツに取り組む機会の充実や学校での体育・保健体育の授業及び運動部活動の充実、また地域におけるスポーツをする機会の充実

③高齢者がいつまでもいきいきとした生活を送ることができるようスポーツに取り組む機会の充実

④障がい者のそれぞれが状況に応じてスポーツを楽しむことができるようスポーツに取り組む機会の充実や環境づくり

「みる」スポーツ

現状 ①観戦したいスポーツの1位が「野球・ソフトボール」、2位が「サッカー・フットサル」、3位が「バスケットボール・バレーボール」、4位が「マラソン・陸上競技」

②湘南ベルマーレ、横浜 DeNA ベイスターズ、横浜ビー・コルセアーズなど、トップスポーツチームに望むことは、「試合における高いパフォーマンス、好成績」、「選手等との交流・ふれあいができるイベント事業の実施」、「公開練習の観戦機会の充実」

課題 ①トップスポーツの試合開催の推進

②市民とトップアスリートが触れ合う機会の充実

「ささえる」スポーツ

現状 ①地域でスポーツを普及する担い手の不足や固定化

②市民のスポーツに関するボランティアへの意識が低い

③本市の国民体育大会・全国大会出場者は 100 人前後で推移している

課題 ①行政だけでなく、スポーツ関係団体、大学などの連携・協働

②スポーツボランティアやスポーツ指導者の確保、活用のための工夫

③競技力強化に向けた取り組みの支援

スポーツ施設

現状 ①本市のスポーツ施設数は近隣市に比べて多く、利用者も増加傾向

②運動習慣のない市民がスポーツを始めるきっかけとなりそうなものの1位は「自宅から近距離(徒歩圏)に運動が出来る場所や施設の整備」

課題 ①既存施設の有効活用や施設の健全な経営によるサービスの充実

②身近な地域でスポーツを楽しむ機会の充実

スポーツに関する情報

現状 ①何かを自発的に調べる際に最も頻繁に利用する手段は「インターネットによる検索」

②市内のスポーツ情報に特化したサイト「ひらつかスポーツナビ」の認知度が低い

課題 ①インターネットによるスポーツに関する情報を発信する工夫と質と量の充実

②広報ひらつかや、地元メディアなどを活用した多様な情報提供

第3章 計画の方向と取組み

平塚市の目指す姿

スポーツを楽しみ、健康で長寿のまち ひらつか

市民の誰もが生涯にわたってスポーツを楽しみ、いつまでもいきいきとした生活を送ることができるよう、市民、スポーツ関係団体、行政などが連携・協働してスポーツを楽しめるまちづくりを推進します。

計画の体系

「基本目標」を実現するために「基本的施策」を位置づけ、その推進のため「具体的施策」を位置づけ、施策の展開を図ります。施策の展開にあたっては「する」、「みる」、「ささえる」の取組視点を踏まえながら行います。

基本目標	基本的施策	取組視点			具体的施策
		する	みる	ささえる	
1 生涯 スポーツの 推進	(1) 成人のスポーツ機会の充実	○		○	①スポーツの普及啓発 ②生活習慣病予防のための運動教室 ③健康づくりの推進 ④地域における身近な運動機会の充実 ⑤スポーツ・レクリエーション活動の充実 ⑥ボランティアする機会の提供
	(2) 子どものスポーツ機会の充実	○			①親子で楽しむスポーツ活動の充実 ②小中学校体育の授業内容の充実 ③中学校部活動の推進 ④子どもを対象としたスポーツ活動の充実
	(3) 高齢者のスポーツ機会の充実	○			①介護予防のための運動へのきっかけづくり ②高齢者を対象とした地域における身近な運動機会の充実
	(4) 障がい者のスポーツへの参加促進	○			①障がい者スポーツ活動の支援 ②障がい者のスポーツ・レクリエーション活動の充実
2 地域 スポーツの 推進	(5) 地区体育・スポーツの普及・発展			○	①地区体育・スポーツの振興 ②地域スポーツの底辺拡大
	(6) ニュースポーツ・レクリエーションの普及			○	①スポーツ推進委員の資質向上
	(7) 総合型地域スポーツクラブの育成・支援	○			①総合型地域スポーツクラブの育成・支援
	(8) 大学などとの連携強化			○	①大学と地域との連携強化
3 トップ スポーツの 推進	(9) 地元トップアスリートの輩出	○		○	①選手の競技力強化 ②選手の派遣 ③表彰制度の充実 ④優秀選手などへの支援 ⑤平塚市体育協会の自立・支援
	(10) 湘南ベルマーレとの連携強化			○	①サッカー文化の振興 ②サッカーを中心としたスポーツ振興 ③自転車を活用したスポーツの推進
	(11) スポーツ指導者の発掘と活用			○	①スポーツ指導者の確保と派遣 ②スポーツ指導者の育成
	(12) トップスポーツの活用			○	①トップスポーツに触れる機会の充実 ②全国規模の大会などの支援 ③トップアスリートの活用
4 スポーツを 楽しむ 環境 づくり	(13) スポーツ施設等の充実			○	①効率的な施設の運営・管理 ②その他の施設の情報把握 ③スポーツ用具の有効活用
	(14) スポーツ情報の提供の充実			○	①スポーツ情報の提供

施策の展開

基本目標1 生涯スポーツの推進

市民の誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツを楽しむことができる生涯スポーツ社会の実現のため、「成人」、「子ども」、「高齢者」、「障がい者」のライフステージに応じたスポーツ活動を推進します。

成人のスポーツ機会の充実	成人の健康保持増進のため、成人が積極的にスポーツに取り組む機会を充実します。
子どものスポーツ機会の充実	子どもの体力向上のため、スポーツに取り組む機会を充実させるとともに、学校での体育・保健体育の授業及び運動部活動を充実します。
高齢者のスポーツ機会の充実	高齢者の生活の質の向上のため、高齢者がスポーツに取り組むことの大切さを理解し、スポーツを継続的にできるよう、高齢者がスポーツに取り組む機会を充実します。
障がい者のスポーツへの参加促進	障がい者の生活の質の向上のため、障がい者がそれぞれの状況に応じてスポーツを楽しむことができるよう、障がい者のスポーツ活動を支援するとともに、スポーツに取り組む機会を充実します。

基本目標2 地域スポーツの推進

地域社会の活性化のため、スポーツ関係団体による地域のスポーツ活動の活性化、総合型地域スポーツクラブの育成・支援、中学校部活動や大学との連携などを通じて、地域住民の交流を深め、地域の一体感や活力を醸成し、地域住民が主体的に参画するよう、地域のスポーツ活動を推進します。

地区体育・スポーツの普及・発展	地域の一体感や活力を醸成するため、地域住民がスポーツを通じて交流を深められるよう、地域のスポーツ活動に参画する機会を充実します。
ニュースポーツ・レクリエーションの普及	運動が苦手の人、子ども、高齢者でも始めやすいニュースポーツ・レクリエーション活動の活性化のため、スポーツ推進委員が中心となって、ニュースポーツやレクリエーションを普及します。
総合型地域スポーツクラブの育成・支援	市民の自発的・自主的なスポーツ活動を活性化させるため、総合型地域スポーツクラブを育成・支援します。
大学などとの連携強化	地域のスポーツ活動の活性化のため、地域、中学校部活動、大学などとの連携を深めます。

基本目標3 トップスポーツの推進

市民活力の創出のため、地元トップアスリートの輩出、湘南ベルマーレとの連携、スポーツ指導者の発掘と活用、トップスポーツの活用などを通じて、市民に誇りや喜び、夢や感動を与え、市民の活気があふれるよう、トップスポーツによるスポーツ活動を推進します。

地元トップアスリートの輩出	市民が誇りや喜びを感じられるよう、本市のスポーツ選手や競技団体の強化を通じて、トップアスリートの輩出を目指します。
湘南ベルマーレとの連携強化	スポーツ界の好循環の創出のため、湘南ベルマーレとの連携を深め、サッカーを中心としたスポーツを振興します。
スポーツ指導者の発掘と活用	本市のスポーツ水準の向上のため、スポーツ指導者に地域での活躍の場を提供します。
トップスポーツの活用	市民が夢を持ち、感動を得られるよう、臨場感や高揚感を味わえる試合観戦の機会の提供や選手と直に触れ合える機会を提供します。

基本目標4 スポーツを楽しむ環境づくり

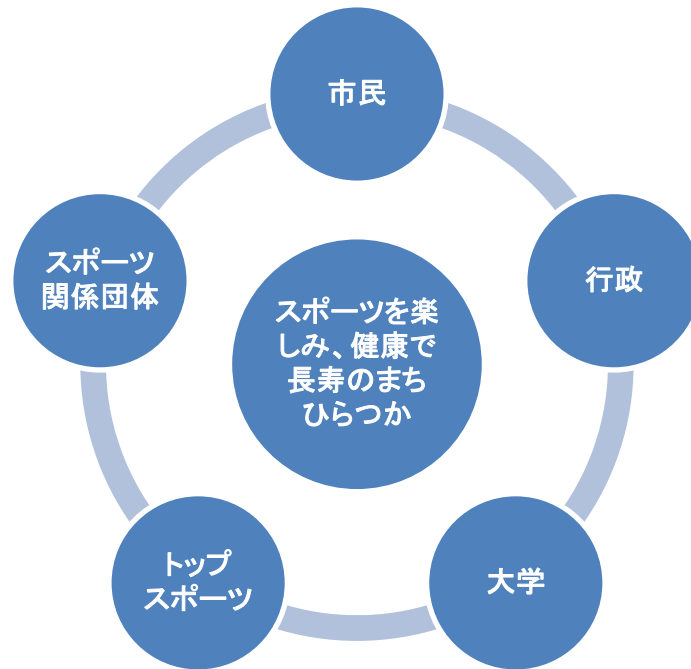
市民が積極的にスポーツに取り組むため、身近で気軽に利用できるスポーツ施設の充実や市民のニーズに応じたスポーツ情報の提供などを通じて、スポーツを楽しむ環境づくりを推進します。

スポーツ施設等の充実	継続的なスポーツ実践者を増やすため、スポーツ施設やスポーツ用具の充実を図り、スポーツを楽しむ環境を整えます。
スポーツ情報の提供の充実	継続的なスポーツ実践者を増やすため、スポーツに関する情報を多様な手段を用いて提供します。

第4章 スポーツ推進計画の実現に向けて

計画の推進体制

スポーツ関係団体や行政などの役割を明確にした上で連携し、計画的な事業の推進を図ります。



スポーツ関係団体など

- ・平塚市体育協会
競技スポーツの推進
- ・平塚市体育振興連絡協議会
地区体育の普及・発展
- ・平塚市スポーツ推進委員協議会
スポーツの実技指導や行政との連絡調整
- ・平塚レクリエーション連盟
レクリエーションの普及・発展
- ・平塚市スポーツクラブ連合
スポーツクラブの育成や連絡、協調
- ・(公財)平塚市まちづくり財団
本市スポーツ施策を補完

トップスポーツ、大学

- ・湘南ベルマーレ
試合観戦を通じた夢や感動の提供、アスリートの技術や経験、人間的な魅力を地域スポーツに還元
- ・横浜DeNAベイスターズ
試合観戦を通じた夢や感動の提供、アスリートの技術や経験、人間的な魅力を地域スポーツに還元
- ・横浜ビー・コルセアーズ
試合観戦を通じた夢や感動の提供、アスリートの技術や経験、人間的な魅力を地域スポーツに還元
- ・東海大学
大学が有する専門的知識や人材の提供
- ・神奈川大学
大学が有する専門的知識や人材の提供

行政

- ・オリンピック・パラリンピック推進課
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催を契機として、多くの市民が様々な形でスポーツに関わることのできる環境づくり
- ・事業課
自転車を活用したスポーツの普及・振興
- ・協働推進課
スポーツに関わる市民活動団体の活動支援や行政との協働の橋渡し
- ・高齢福祉課・地域包括ケア推進課
スポーツを通じた高齢者の健康づくりや生きがいづくり
- ・障がい福祉課
スポーツを通じた障がい者の自立と社会参加
- ・保育課
スポーツを通じた幼児の心身の健全な発達
- ・健康課
スポーツを通じた市民の健康づくり
- ・みどり公園・水辺課
スポーツをする場やトップスポーツに触れる機会の提供
- ・総合公園課
スポーツをする場、トップスポーツに触れる機会の提供及びトップアスリートの活用
- ・教育指導課
学校での体育・保健体育の授業及び運動部活動などの指導・統括
- ・スポーツ課
スポーツ施策を統括・推進
- ・中央公民館
スポーツをする場の提供やスポーツ・レクリエーションをする機会の提供

計画の進行管理

計画の着実な推進を図るため、定期的な進行管理を行い、PDCA サイクルを導入し継続的な改善を図ります。計画の進捗状況の点検及び評価については、「平塚市スポーツ推進審議会」に報告し、改善の検討などを行います。なお、進捗状況はホームページなどで市民に公表します。

計画指標

基本目標1 生涯スポーツの推進

	策定時数値(H24)	実績値(H29・H30)	目標値(H35)
◆市民の週1回以上のスポーツ実施率	54.1%	55.4%(H30)	58.1%
◆児童生徒に占める少年少女スポーツ大会・スポーツ教室の参加者数の割合	10.8%	13.2%(H29)	13.5%
◆介護予防事業の参加者数	4,653人	⇒事業転換で数値なし	
◆県障害者スポーツ大会の参加者数	119人	102人(H30)	増加

基本目標2 地域スポーツの推進

	策定時数値(H24)	実績値(H29)	目標値(H35)
◆地区体育振興事業の参加者数	9,567人	8,948人	9,950人
◆大学と連携したスポーツイベントの参加者数	1,596人	1,498人	1,900人

基本目標3 トップスポーツの推進

	策定時数値(H24)	実績値(H29・H30)	目標値(H35)
◆平塚市トレーニングセンターから輩出したJリーガーの累計数	5人	8人(H30)	10人
◆国民体育大会、全国大会などの出場者数	99人	96人(H29)	110人
◆湘南ベルマーレ、横浜DeNAベイスターズ、横浜ビー・コルセアーズの試合におけるShonan BMW スタジアム平塚、パッティングパレス相石スタジアムひらつか、トッケイセキュリティ平塚総合体育館の総収容人数に占める総入場者数の割合	27.4%	35.4%(H29)	30.1%
◆スポーツ指導者登録数	新規	4人(H29)	110人

基本目標4 スポーツを楽しむ環境づくり

	策定時数値(H24)	実績値(H29・H30)	目標値(H35)
◆施設全体の利用における総合的な満足度(軟式庭球場)の「満足」と「ほぼ満足」の割合	54.3%	59.0%(H29)	58.3%
◆施設全体の利用における総合的な満足度(桃浜町庭球場)の「満足」と「ほぼ満足」の割合	66.0%	67.0%(H29)	70.0%
◆学校体育施設開放事業利用者数	450,073人	416,671人(H29)	470,250人
◆ホームページ上でのスポーツ団体・サークルの掲載数	新規	143団体(H30)	450団体

発行:平成31年3月

お問い合わせ先:

平塚市教育委員会 社会教育部 スポーツ課

〒254-8686 平塚市浅間町9-1

TEL:0463-31-3060 FAX:0463-34-5522

E-mail: sports@city.hiratsuka.kanagawa.jp

イラスト:一寸木 幸平